

本会報は、①ニュース(お知らせ) ②研究小論文紙(ミニ論文紙) ③支部ニュースの三本立てとなっております。今回は、講演活動をシステム化し、インストラクター間で共有し協働している青森県支部について、支部長 本間さんから紹介していただきます。

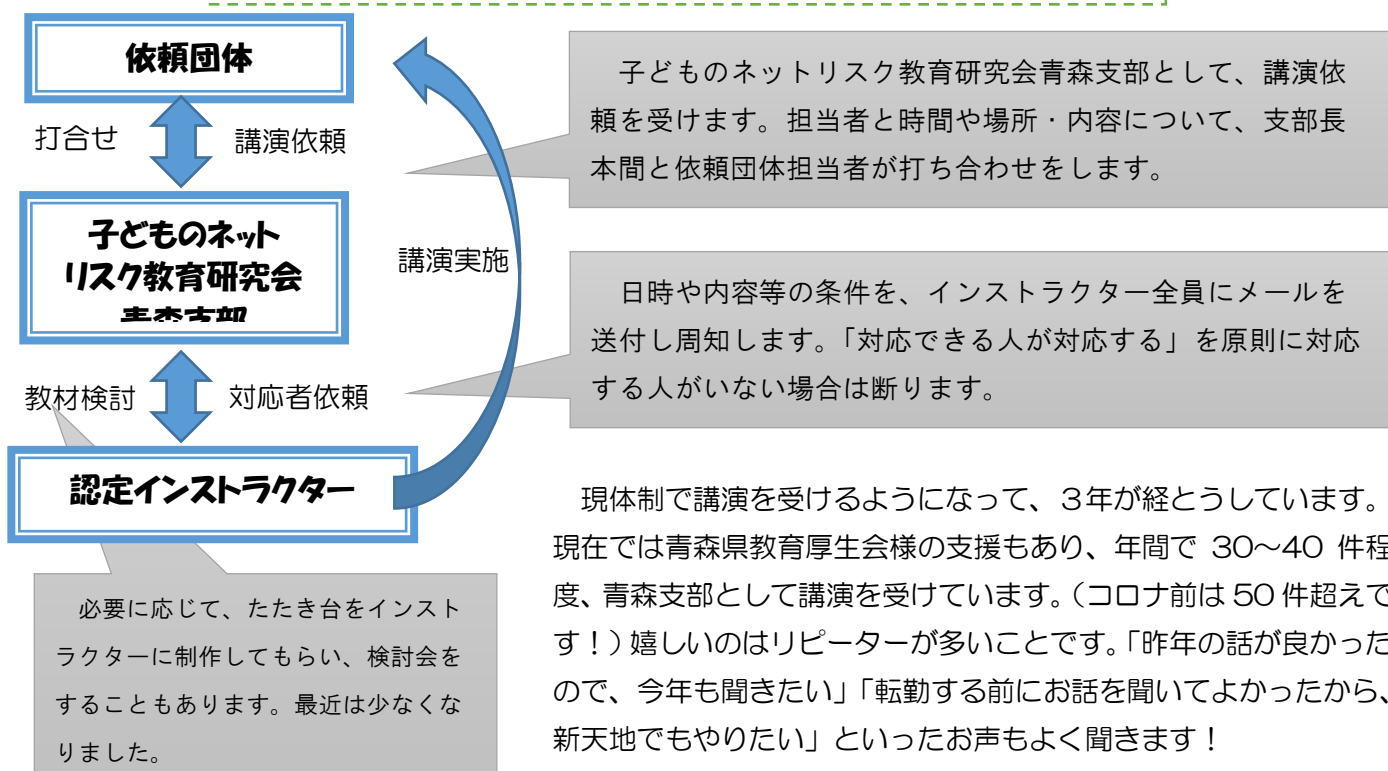
## 青森支部 “青森モデル” の紹介

子どものネットリスク教育研究会専門委員会

青森県支部長 本間 史祥

これまでの活動の広がりもあり、子どものネットリスク教育研究会の支部設立の動きが加速しています。今後、全国各地に支部ができることを期待しています。本号では、3年前にも一度紹介しましたが青森支部での活動と青森支部の講演体制について紹介します。青森では2018年2月に青森市でTHInetの養成講座を行い、7名のインストラクターが誕生しました。

### 青森モデル！ 講演体制の仕組み



青森県支部は元々、大谷先生が弘前大学におられた経緯もあり、土台がかなり出来上がっていました。各地の認定インストラクターの皆さん、まずは地域でTHInetの養成講座を行い、地域で講演活動ができる人を増やすことがステップ1です。予算面で心配であれば、弊会も所属しているGrafsecという団体の支援事業が使えるかもしれません。支部設立についての御相談は、本間と代表までお願いします！

【編集後記】 前回の発行から間が空いてしまいました。久しぶりの会報をお届けします。現在、本会は青森県支部、埼玉県支部(休止中)、群馬・栃木・新潟連合支部が設立されております。そして、鹿児島県支部が3月上旬に誕生しました。各支部の特徴や活動の紹介などをニュースとして掲載していきますので、どうぞ楽しみに！